



東北学院大学で講義 地質学の本質伝える

アサノ大成
基礎エンジ

アサノ大成基礎エンジニアリングは5月27日から6月10日にかけて、東北学院大学工学部環境建設工学科で全3回の特別講義をした。写真。

同社は企業バリューとして、自社の資源を生かした「社会貢献活動に取り組み」ことを掲げており、その一環で実施した。3回の講義では

「地質」と「土質」の定義・概念の本質的な違いの解説と地質学での専門知識の深化、柱状図を用いた断面図作成の演習をテーマとした。

学生は熱心に課題に取り組む、技術への理解を深めた。同社は今回の取り組みについて「学生にとって教科書だけでは得られない、実務での地質学の意義を知るきっかけとなるはずだ。社会インフラを支える仕事への関心を高める一助となってほしい」としている。